

ろう学校だより 3学期3月号

2021年3月発行
佐賀県立ろう学校
教務部・支援部



☆☆これまでに行われた3学期の主な行事等を紹介します☆☆

小学部 お別れ遠足



2月10日(水)小学部お別れ遠足で「県庁」と「中央児童センター」に行きました。県庁では、最上階から佐賀の街並みを見学しました。たくさんの建物や人・車の往来を上から見るのはとても新鮮で、目を輝かせて見ていました。県庁ビンゴゲームも全員クリアできました。中央児童センターでは、たくさんのゲームや遊具で遊びました。道具を借りるときは自分たちで何を借りたいのか、係の人に伝わるように工夫して話しました。色々な遊びができ、時間もあっという間に過ぎました。みんなでの楽しい思い出ができました。



中学部 「先輩の話を聞こう！」

1月27日(水)の合同自立活動の時間に、本校の卒業生の古賀郁哉さんを講師にお招きして、「中学部の生徒に伝えたいこと」という内容でお話していただきました。古賀さんに会社や現在の仕事の内容等についてお話しいただいた後、中学部の生徒からのたくさんの質問にも答えていただきました。生徒は、将来の仕事や生活をイメージして不安に感じていたことについて、先輩が実際の経験で得た解決方法等を教えてもらい、安心したようで表情がとても和らぎました。最後に、挨拶や積極的に周囲とのコミュニケーションをとること、仕事ではきちんと指示内容を確認することなどが大切であること、体調が悪いときは無理しないことなどのアドバイスをもらいました。生徒たちは、その後の感想で「教えていただいたことを忘れず、日々の勉強や部活動をがんばりたい！」と話していました。



高等部 校外学習「佐賀のことを学ぶ時間」

2月19日、佐賀城本丸歴史館と東よか干潟ビジターセンターへ出かけました。好天に恵まれ、久しぶりの校外活動ということもあり、生徒たちの表情も生き生きとしていて、笑顔がこぼれました。佐賀城では、弾痕の残る鯨の門や本丸の大広間、天守台など、佐賀の歴史の一端に触れることができました。ひがさすでは、泥の浄化実験で、墨汁が澄んだ水になったことに驚嘆し、干潟の景色やそこに住む生き物の観察をとおして、佐賀の豊かな自然を実感することができました。



幼稚部 豆まき

幼稚部では2月3日、一日遅れで『豆まき』をしました。制作の時間に升と鬼のパンツと角を作りました。お腹の中にいる鬼の発表をした後、園庭に赤鬼がやって来ると、みんなで「鬼は外、鬼は外。」と元気に豆をまき、「指しゃぶり鬼」「きょろきょろ鬼」「怒りん坊鬼」を追い出しました。鬼が去った後は、おやつに甘納豆を食べました。



中学部 校外学習

2月26日(金)は、中学部の生徒が楽しみにしていた今年度初めての校外学習でした。まず、ボランティア活動のまとめとしてユニセフ佐賀を訪問しました。ここで、ユニセフの取り組み等についてお話を聞いた後、全校に協力してもらいながら1年間で集めた古切手とインクカートリッジを渡しました。お礼を言われ、生徒の顔はとても誇らしげでした。その後、東与賀町にある「干潟ビジターセンター ひがさす」に行きました。説明を受けながら、生徒は故郷佐賀県の有明海の素晴らしさを再認識していました。



高等部 総合的な探究の時間・課題研究成果発表会

2月26日(金)、総合的な探究の時間や課題研究で学んだ進路学習の成果発表会を開きました。例年、6月に行う就業体験学習が今年度はできず、代わりに職種や社会でのコミュニケーションやビジネスマナーの学習、職場の見学などを行い、そこで学んだことをまとめ、発表しました。各自が、就労に向けて必要なことや今の自分の課題を認識し、就きたい職業や自分の適性などを考え、まとめていました。



巡回相談は随時受け付けています

<障害のある子どもの学校生活支援事業>



～支援会議への出席や一般学校への支援など・発達障害に関するご相談ください～

幼稚園・こども園・保育園や小・中・高等学校等に職員を派遣し、子どもの実態把握や支援方法・授業改善等についてお手伝いをしています。聴覚障害はもちろん、発達障害に関する相談にも対応しています。児童生徒の授業の参観と支援方法の助言、研修会の講師等のニーズに応えています。電話・FAX・メール等で「支援部」までお気軽にご相談ください。

TEL:0952(30)5368 FAX:0952(34)1043 メール: rougakkou@education.saga.jp